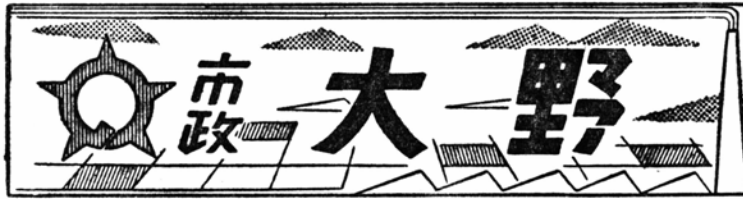


発 行
福井県大野市天師町1番1号
大 野 市 役 所
(企画室広報係)
電話(代) 6-1111
郵便番号 912
印刷 松浦印刷所



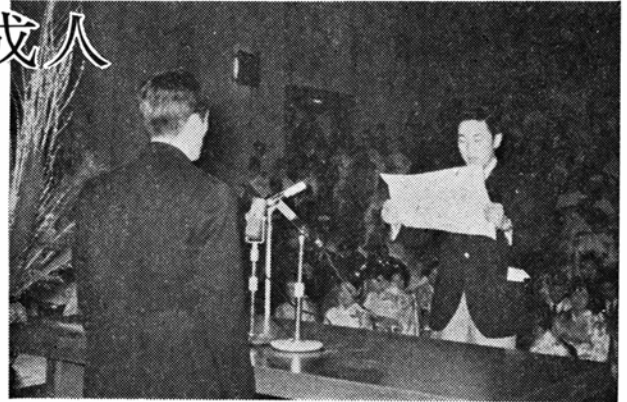
出生	男 25	女 27	計 52
死亡	男 21	女 29	計 50
転入	男 51	女 62	計 113
転出	男 78	女 59	計 137
世帯数			9,936
人口			43,082
男	20,646	女	22,436

晴れて979人が成人

盛大に成人式を挙行

1月15日の「成人の日」に、市民会館で盛大に成人式が開催され、男435・女544計979人(出席者580人)の新成人のみなさんを祝福・激励する式典や記念行事が行なわれました。

市長の式辞、栃木教育委員長の激励のことば、来賓の祝辞に続いて、成人者代表の金井茂夫君(泉町)の発声にあわせて、出席者全員が「私たちは社会に目を開き自主自律の精神をもって理想達成に努力します」と誓いのことばを述べました。



◇◇◇ 主体性ある人に

ことしの成人式は、新成人代表者の意見も取入れて運営し、非常に好評でした。

また、新成人を持つ家庭でも、成人を祝う独自の行事が行なわれるようになったことは、誠に喜ばしいことです。

しかし、ここで考えたいことは、「昭和元禄」を地でいくような女性の晴着の競い合いという実情です。

ことし参加された女性の98%(推定)は、和服だったようです。

ことしの成人式でとったアンケート(回答者77人)では……

- 華美でよい 男 6.4% 女 20.0%
- 簡素を望む 男 46.8% 女 56.7%
- 何とも思わない男 40.4% 女 20.0%
- その他 男 6.4% 女 3.3%

上の結果では、簡素にした方がよいと答えた人が、平均して50%をこえているのに、なぜ現実には簡素とも思えない和服が多いのでしょうか。これが問題なのです

自分の意志に反して、ヒトが着るから親がすすめるから? というのでは、自分の言動に責任をもち、おとなの仲間入りをする成人式にしては、あまりに主体性がないといえましょう。服装については、他人やマスコミが強制すべきではありませんが、このアンケート結果や一部の人の批判をすなおに受け止め、成人者自身がよく検討しなければならない問題だと思います。

◇◇◇

その後「人生をつくる」の題で、金沢大学の大平勝馬教授の講演を聞きました。

記念撮影に続いて、成人感想文入選者3名の発表があり、「おとなになったことを自覚し、力強く生きたい」と、成人した感想や決意を述べられました。

また、富田地区青年グループ荒龍会の演劇「竹の子」や、有終中学校ブラスバンド演奏が、参加者の心をやわらげました。

ことし初めてのお好みコーナー(茶道・ダンス・喫茶)は、どれも好評で、どの会場も若い熱気があふれていました。

市は、成人の記念として新成人全員に成人手帳を贈りました。

補正予算を可決

1月臨時市議会開く

第116回臨時市議会は、1月10日に開会され、「財政再建計画の変更について」など7議案を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

また、南副議長が辞任され、後任に斎藤秀雄氏(日吉町・40歳)が選任されました

可決された7議案の主な内容は、人事院勧告による市職員の給与改定に伴うものです。一般会計予算では、2.507万5.000円が追加され、歳入歳出予算総額は、14億1.954万円となりました。

特別会計では、簡易水道事業会計、1.181万円、国民健康保険事業会計で

きみたちのたくましいエネルギーは
かぎりない民族の発展を約束し
きみたちの持つ若々しきは
新しい時代に応じた
民族の柔軟性を育てあげる
そのために、強健な身体と
豊かな知性を養い、
輝かしい未来の繁栄をめざし
ともに全力をかたむけよう。

(成人式市長式辞要約)

成人感想文入選者

(敬称略) 下島比佐子(木本・学生)
堀 輝子(元町・学生)、高村満里子(下丁・農業)、竹下美幸(稲郷・家事)

53万2,000円が、それぞれ減額されました。

これらは、本年度予算で実施できなかった南六呂師水道改良工事等の減額分と人件費の追加額との差引額になっています。

南部土地区画整理事業会計で34万円、五箇診療所事業会計で7万6,000円がそれぞれ追加されました。



斎藤副議長

大野墨俣線を国道に

期成同盟会を結成

1月26日、岐阜県安八郡墨俣町公民館で、主要地方道大野墨俣線国道昇格並びに整備促進期成同盟会の結成大会が開催されました。

この道路は、大野市を起点として、西谷村温見峠を経て岐阜県墨俣町に通ずる主要地方道であり、現在は、県境を境にそれぞれ、福井・岐阜両県の県道となっています。これを、国道に昇格し、国費で整備してもらうため、福井・岐阜両県の知事や県議会議長らの県代表者と、この道路沿いの関係市町村、福井県側の大野市・勝山市・西谷村、岐阜県側の岐阜市・大垣市・墨俣町など4市9町4村の市町村代表者でこの同盟会が結成されたわけです。

会長には岐阜県知事平野三郎氏、副会長に福井県知事小川平太夫氏が選任され大野市長は、常任理事となりました。

この同盟会の名のもとに「北陸と東海を結ぶ最短距離(約113km)の道路として、両地域の産業文化の交流、国土の開発、地域住民の福祉向上に果す重要性を

市の投票率は 79.27%

衆議院議員総選挙

昨年12月27日に行なわれました衆議院議員総選挙の投票率は79.27%で、昭和42年の総選挙投票率83.74%に比べて、4.47%下回りました。

年末であわただしかったせいもあったでしょうが、有権者10人のうち2人が、主権者としての貴重な権利を放棄したことになります。政治を見守る姿勢とともに政治に参加できる投票の権利は、正しく行使したいものです。

当日の有権者数

男13,548人 女15,615人、計29,163人
投票者数

男10,619人 女12,499人、計23,118人
棄権者数

男 2,929人 女 3,116人 計 6,045人
投票率

男 78.38% 女 80.04% 計 79.27%
有効投票 22,939 無効投票 176

再確認し、この道路を国道に昇格し、改良・整備の早期実現を図るため岐阜・福井両県並びに関係市町村は「一丸となって目的の完遂を期す」と決議しました。

昭和50年までには国道に昇格されるように、今後この同盟会が強力な運動を展開することになりました。

下鹿線が県道昇格

県議会で認定

京福大野駅を起点に、庄林・大矢戸を経て勝山市鹿谷町の県道安波賀勝山線に至る市道下鹿線(約13km)の県道編入運動が実り12月の県議会で、路線名も本郷大野線として県道に認定されました。

今後、県が建設者の承認を得る手続きが残っていますが、3月末には県道昇格が正式に決定される見通しです。



手ざわよく開票をすすめる市職員

大野市 森林組合 合併協発足

林家経済の向上が目標

1月21日、大野市森林組合合併協議会が発足し、会長には市長があたることになりました。

これは、国民経済の進展と増大する林業需用に対処するため、上庄・小山・阪谷・五箇の4つの森林組合が合併して、組合自体の経営組織を拡大し、体質の改善、経営の合理化と安定性を確保する一方、新しい技術の普及に力を入れるなど組合員への奉仕を強化して、林家経済の向上安定を図ろうというものです。

この合併が実現すると、組合員数3,611人、森林面積14,784ha(町歩)の県内でも一番規模の大きい森林組合になります

霊場建設地は大門に

45年度着工の運び

懸案の市営霊場は、乾側地区の大門に建設することになりました。

敷地は、約7,593㎡(2,297坪)の予定で現在所有者と用地購入契約をすすめています。45年度から工費およそ3,000余万円です。46年度から使用できる見込みです。

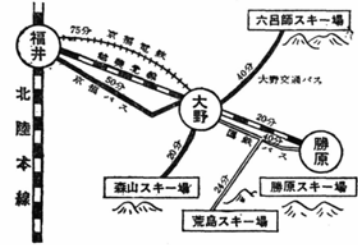
また、現在実施中の大門の基盤整備事業と合わせて、越美北線牛ヶ原駅から霊場まで、幅員8m、延長約1kmの市道付け替え工事も行なう計画です。



14

スキー場

市内には、六呂師・森山・勝原・荒島の四スキー場があります。それぞれ変化に富み施設も充実していて、民宿の味もまた格別なものがあります。



スキー場	施設・設備(特徴)	民宿
六呂師	リフト、ロープトゥ、トロイカ、ヒュッテ(食堂・売店) 休憩展望所、有料トイレ(北陸一のスロープ)	貸スキー・貸ぐつ
勝原	リフト、ロープトゥ、ロッジ銀嶺荘(食堂・売店・宿泊) 駐車場 (交通便利)	貸スキー・貸ぐつ
荒島	売店、ヒュッテ (ツァースキーが楽しめる。)	貸スキー・貸ぐつ
森山	ヒュッテ(食堂・売店・宿泊) ロープトゥ (初心者、中級むき)	貸スキー・貸ぐつ

またも事故記録を更新

事故件数は43%増 大野署内

昨年8月16日、市は交通事故非常事態を宣言しました。

その後大野署管内では、死亡事故こそなかったものの、事故はふえ続け昨年1年間で356件発生しています。

これは、前年の249件に対して43%の増になります。

大野市交通対策協議会が発足したのは昨年5月、市民総ぐるみで事故防止運動を展開してきたにもかかわらず、昨年もまたありがたくない事故記録を大幅に更新したことは、まことに残念なことです。昨年の全国・福井県・大野署管内別の交通事故状況は右上の表のとおりです。

割合において、大野署管内のふえ方は異常な率を示しています。

全国の交通事故死者は 32分20秒間に1人

全国の交通事故死亡者は、本市人口の38%に相当し、32分20秒間に1人がなくなっている計算になり、負傷者は、県人口を20万人余こえる数であり、33.1秒間に1人がケガをしていることとなります。文字どおり交通大戦争です。運転者も歩

行者も改めて考えなおさなければなりません。わたしたちは、家庭や職場でよく話し合い、市民ひとりひとりが事故を起さぬよう、事故にあわないよう最大の注意をすべきであります。

昨年の交通事故状況 ()は前年度

	発件数	死者	負傷者
全 国	717,621件 13%増 (635,056)	16,258人 14%増 (14,256)	951,542人 13%増 (842,327)
福井県	6,388 22%増 (5,242)	144 3.6%増 (139)	9,050 28%増 (7,057)
大野署	356 43%増 (249)	9 80%増 (5)	269 32%増 (204)

こどもの建物

春日児童館完成

昨年10月25日に着工した春日児童館がこのほど完成しました。

工費は550万円。木造2階建てかわら



ぶき、延面積は263㎡(88坪)、クリーム色とエンジ色の外装で、モダンな建物です。

館内は、遊戯室・講堂・会議室・静養室・図書室・調理室・事務兼医務室があります。このほか30万円で机やイス、オルガン、テレビなども備えます。

児童館は、名のとおり児童のための建物で、学校から離れた社会人としての子供たちのために、子供の育成、集団生活の訓練の場にあて、社会道徳や情操を育てることをねらいとしています。

このため、館長や2名の厚生指導員が指導にあたるほか、児童館運営委員会と協議して、安全で効果的な使用、運営を行なうことになっています。

なお、市民の強い要望で、昭和45年度に、もう1館建設する予定です。

(写真は市では最初の春日児童館)

市報短信

◇消防車1台を更新◇

価格210万円で125馬力の新しい消防自動車1台を購入。消防署の4号車を第1分団に配置換えし、古くなった1台を廃車する。性能は良く、最大放水量毎分2,400ℓ、油火災に備えて化学消火液40ℓと狭い路地用に小型動力ポンプを積載できる。また、人命救助用に3.6mのハンゴも装置してあり威力は増加。



(消防自動車の入魂式篠座神社で)

◇市報を出稼ぎの市民に◇

冬季間、およそ550余名の市民が、京都府、愛知県の酒造会社を中心に、14府県、80の事業所へ働きに出ています。

こうした郷里を離れて仕事に励まれている市民に、郷里のニュースや市政の動きをお知らせして、さらに元気で働いてもらおうと市報を各事業所へお送りすることになりました。

これのお問い合わせは、農務課へ。

◇大野城へ 31,170人◇

昨年4月1日から11月末日までの越前大野城入館者は、おとな19160人、こども12,010人、計31,170人。

月別では、おおの城ますりの8月がトップで7,784人、ついで多いのは、5・4・10月。一方、歴史館へは、おとな2,474人こども1,429人が入館している。市のシ

ンボル、越前大野城を訪れる県内外の観光客は、年々ふえている。

◇道路補修の奥田氏を表彰◇

この道ひとすじ、22年間道路の補修に励まれた奥田清氏(日吉町)が、大野土木協会(寺島市長)から表彰された。

奥田氏は、県の道路修理夫として、県道大野墨俣線、秋生大谷線など約16kmを担当、このほど退職され、在職中のまじめな仕事ぶりに対して表彰が行われたもの。「一応退職することになるが、働ける限りこの仕事を続けたい」と話されていた。

スマイル

成人式 讃歌
 ボロは着てても
 心はニーシキー
 一水前寺清子
 コーナー

防火の自覚高まる

少なかった昨年の火災

市消防署がまとめた昭和44年中の火災発生状況統計によると、発生件数、損害額とも少なくなっています。

これは、市民の防火の自覚が高まったこと、消防署や消防団が行なった防火査察や座談会・展示会などの予防活動が効果をあげたことによるものと考えられます。

統計によると昨年の発生件数は前年より2件少ない16件で、過去10カ年平均より8件少なくなっています。

焼失面積は544㎡で過去10カ年平均1,785㎡の31%に当たり、損害額は528万8,000円で過去9年来の最低額であり、過去10カ年平均3,151万6,000円の17%と大幅に減少しています。

これは、工場火災が1件もなかったことにもよります。

火災原因の1位は火遊びの5件で、全損害額の36%を占めています。

件数が減ったものの、まだ16件も発生しており、手ばなしで喜ぶべき状態ではありません。

努力して築きあげた財産や、尊い人命をも失いかねない火災をなくするために市民ひとりひとりが常に細心の注意を怠ってはなりません。

火災の通報はすみやかに「119番」へ、

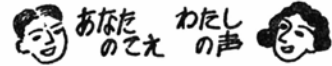
ふえた救急車の出動

昨年の救急処理件数は148件、年々増加の傾向にあります。

この件数を種類別に見ますと、交通事故が1位で60件、2位急病の40件、3位一般負傷の30件、以下、運動競技10件、労働災害6件その他2件の順となっています。

2月の社会体育コーナ

- 第22回県体スキー競技会
7～8日 9～16時 森山スキー場
- 第1回おかあさん卓球大会
11日 8.30～16.30時 有終西小学校
- 市民スキー大会
15日 9.30～16時 森山スキー場



陰樹で迷惑

(お尋ね) 隣家の木がだんだん大きくなり、今では枝が私の屋敷内に大きくはり出し、落葉が屋根瓦の上にとまって、サカ水がはいったり、日陰げになって困っています。かってに切ってもいいものでしょうか。

(お答え) 「民法」にこんな場合の定めがあります。

竹木の枝が隣地に侵入したときは、竹木所有者に対して、竹木の枝を剪除(切る)するよう請求することができる(民法233条)……となっており自分かってに切ることはできませんが、切ることを請求できます。

また、相手方が応じないときは、裁判所に対して所有者の費用で、第三者に切らせることを請求できる……となっていますが、これは、隣地所有者が、何らかの重大な損害をこうむるか、こうむる恐れのある場合のみ請求できると解説されています。

(以上、法務局でお聞きした内容です)
◎ 要は、他人に迷惑をかけないようにすることが大切です。新たに竹木を植える時は、後で迷惑をかけない範囲で植えることが必要でしょう。すでに、隣の屋敷内へ出ている場合は、よく話し合いをして、解決することが、最良の方法だと思います。(企画室)

ふえるゴミの量

市民の協力で能率あがる



ゴミの量は、文化的バロメーターともいわれています。収集車が昨年1年間に取り扱ったゴミの量は6,303t、このうち燃やすゴミは5,876t、埋立てするのは、427tです。前年に比べて12.8%増で、収集車の台数は延べ2,928台にもなります。

1日当たりで計算すると、市民ひとりの排出量は745g、1世帯では2,905g、年間1世帯当りの排出量は約1tです。

これに要する経費は、ひとり当り756円1世帯当り2,950円で前年に比較し約30%増となります。

昨年4月よりステーション方式に切り替え、7月からは週2回収集(特別清掃区域)を実施、村部の危険物収集も月2回に改善しました。

ことしは、焼却炉を1基増設し、処理能力を1日25tにする計画です。

市民のご協力で能率的な収集作業ができるようになりましたが、さらにゴミの袋詰め・箱詰めの励行、川へのゴミ捨て防止などを徹底して、美しいまちづくりに向けていきます。

雪どころ大野にあって、雪のことを書くことは楽しい。雪は古くはその年の農作物の豊凶を山に咲く花、あるいは山にかかる雪を以て占った。土地の精霊があらかじめ豊年を村への貢として見せるために雪を降らせるものと考えた。だから雪は稲の花に見立てられた。農男・農鳥(ともに富士山に見られる残雪現象)駒形(各地の駒ガ岳)種まきおっこ(八甲田山)人がたなど、残雪の形が種まき、田植え等の農候として伝承されてきた。しかし、農業の近代化や、さらに一部米作転換さえ余儀なくされつつある現代農業にあって、こうした民間伝承に見られる信仰性まで影が薄らぎ、やがて忘れられるとしたならばまことに寂しい限りである。▼それと対照的なのはスキーの普及である。わが国に初めてスキーが紹介されたのは明治四十四年(一八一)新潟県高田の歩兵連隊において、オーストリアのレルヒ少佐によってである。それが民間にも普及し、大正十二年には第一回日本選手権大会が小樽市で開かれた。札幌オリンピック冬季大会を目前にひかえた現今、隔世の観さえある。▼スキー発祥地といわれる北欧、特にノルウェーの神話にウルルというスキーに乗って狩をする神や、スカオという純白の服を着て輝く氷のヘルメットを頭にいたたくスキーの女神がある。雪おんなや雪女郎の話を生んだわが国と比べていささかおもしろい。が、ノルウェーがスキーを国技にしていることを思うといかに雪を愛し雪に託け込んでいるかがわかる。▼雪国に育った北陸人は、とかく引き込み思案がちである。それは冬の雪から受ける影響でもあろうが、この際大いに雪を克服利用する積極的な生活姿勢が必要である。その意味でもスキーは大いに利用してよいと思う。

雪どころ大野にあって、雪のことを書くことは楽しい。雪は古くはその年の農作物の豊凶を山に咲く花、あるいは山にかかる雪を以て占った。土地の精霊があらかじめ豊年を村への貢として見せるために雪を降らせるものと考えた。だから雪は稲の花に見立てられた。農男・農鳥(ともに富士山に見られる残雪現象)駒形(各地の駒ガ岳)種まきおっこ(八甲田山)人がたなど、残雪の形が種まき、田植え等の農候として伝承されてきた。しかし、農業の近代化や、さらに一部米作転換さえ余儀なくされつつある現代農業にあって、こうした民間伝承に見られる信仰性まで影が薄らぎ、やがて忘れられるとしたならばまことに寂しい限りである。▼それと対照的なのはスキーの普及である。わが国に初めてスキーが紹介されたのは明治四十四年(一八一)新潟県高田の歩兵連隊において、オーストリアのレルヒ少佐によってである。それが民間にも普及し、大正十二年には第一回日本選手権大会が小樽市で開かれた。札幌オリンピック冬季大会を目前にひかえた現今、隔世の観さえある。▼スキー発祥地といわれる北欧、特にノルウェーの神話にウルルというスキーに乗って狩をする神や、スカオという純白の服を着て輝く氷のヘルメットを頭にいたたくスキーの女神がある。雪おんなや雪女郎の話を生んだわが国と比べていささかおもしろい。が、ノルウェーがスキーを国技にしていることを思うといかに雪を愛し雪に託け込んでいるかがわかる。▼雪国に育った北陸人は、とかく引き込み思案がちである。それは冬の雪から受ける影響でもあろうが、この際大いに雪を克服利用する積極的な生活姿勢が必要である。その意味でもスキーは大いに利用してよいと思う。